

ユミ・シャロー(CALENTORRI)

全体のイメージとしてはシックだが、ウエスタンキッズ、ジューダイズ、ハンチングなどスポーティな要素をプラスして、ちょっぴり遊んだ今回のコレクション。ジャケットの胸や袖元にグリーンや赤、オレンジなどの刺し込みがビビッと目立っているパンツスーツ、七分丈やシグネチャーパンツなどスリムなパンツのハイバージョンなども印象に残った。



香月ノリコ(NORIKO KAZUKI)

ウエストまではややゆとりをとり、ウエストからヒップにかけてタイトさせたブルゾン風ジャケットとパンツの組み合わせ。パズラムジャケットとアディルをなまめに飾ったタイトスカートスーツ。ジョルジュ・ラインを丸くやや丸くめに張らせたスポーティなスーツ。ハイバージョンが目立つ、ファーカラー付きアンブルルセットのコート。幾何学柄を管理したコートなど、レザー表現のしなやかなものが多かった。



志村穂久(SHISHI HIRAI)

レーヨンコットンのペルベット、ゴザラン、コットンペロアなど華やかな素材をふんだんに使い、タチメルク・テアニックを駆使した本格的ドレス、スーツ、コート類をそろえてみせた。タチメルクを駆使したフロントルセットのコート。異状に盛りあげた袖と、切り替えを入れて背中が大きくなるようなジャケット、パンツにもふくらみをとったものが目立っていた。

